

第12回名張市地域公共交通会議議事概要

日 時：平成24年5月29日（火） 午前10時00分より

場 所：名張市役所2階 庁議室

出席者：（敬称略）

（1）委員

笠原 正嗣（皇學館大学現代日本社会学部教授）
乾 一彦（三重交通株式会社伊賀営業所所長）
小松 信三（三重近鉄タクシー株式会社名張営業所所長）
深山 美芳（深山運送有限会社取締役）
岡 悦史（(社)三重県バス協会代表）
古谷 久人（地域づくり組織代表）
藤森 迪哉（名張市老人クラブ連合会会長）
草部 豊美（名張市子育てサークル連絡協議会参与）
中 孝（市民公募）
今村 航（市民公募）
森澤 淳（三重交通労働組合伊賀支部長）
大川 修一（国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）
東 和幸（三重県伊賀建設事務所副所長兼保全室長）
松井 一明（代理出席、三重県地域連携部）
植松 重之（名張警察署交通課長）
前田 芳久（名張市都市整備部長）

（2）事務局

都市整備部都市計画室3名

会議の公開・非公開： 公開

傍聴人： 2名

内 容：・ナッキー号の温浴施設乗り入れに伴う運行経路一部変更、バス停
新設並びに運行時間の変更について
・みどり号の武道交流間いきいき乗り入れに伴う運行経路一部変更、
バス停新設並びに運行時間の変更について
・その他

第12回名張市地域公共交通会議議事録

日時:平成24年5月29日(火)

午前10時00分~

場所:名張市役所2階 庁議室

- 事務局 ナッキー号の路線と時刻の変更に係る概要を説明。
- 委員 基本的には路線変更については意義がある。関係機関の許可はいつおりののか。また、ナッキー号について、昨年と比較した利用者、経費の増減について教えていただきたい。
- 会長 その他の事項として後ほどお願いします。
- 事務局 最も早くて7月ごろに許可がおりる見込みです。
- 委員 それまでに協議は十分に調うのか。
- 委員 1ヶ月程の期間があれば十分である。道路管理者等へ別途照会するため、余裕をもって申請をお願いしたい。
- 委員 既存の路線や図の資料がないと議論できない。
- 会長 実際には三重交通(株)の路線はどうなっているか。
- 事務局 温浴施設をつなぐ路線は現在廃止されている。
- 委員 新しいダイヤについて問題はないか。
- 委員 時間帯によって検討が必要かと思われるが、問題ないと考えられる。
- 委員 乗務員の立場からも問題ないと思う。
- 委員 ナッキー号の車両トラブルが多いが、安全には気をつけて、ゆとりをもった運行を心がけていただきたい。
- 会長 8月1日を目途にスタートということで承認ですね。
- 事務局 実際には8月1日以降に運行が開始されます。
- 委員 当初は、温泉の開業は8月の半ばが予定されていたが、掘削工事が難航した結果、8月1日からの運行することになりました。
- 会長 三重交通(株)は路線変更の検討を行うことはないのか。
- 委員 付近に停留所を設置したところなので、現在は検討を考えていない。
- 事務局 みどり号の武道交流間「いきいき」への乗り入れについて説明。
- 委員 申請等の手続きが遅れるようなことはないのか。「いきいき」に乗り入れることの主旨は何か。
- 事務局 問題ないかと考えている。地域の方が乗客を増やし、運賃収益を増やしたい思いがある。
- 会長 何かデータに基づく資料はないのか。要望は事前に市へときていたか

委員 一乗車、はたっこ号は200円、みどり号は100円であり、運賃の改定は検討しなかったのか。

事務局 みどり号の運行協議会としては、いつも乗らないような人に利用してもらいたいということを狙っている。

会長 幅員5.5mというのは問題ないのか。

委員 問題ない。

委員 スポーツジムの施設もあり、市民にも利用を促したい。

会長 停留所の名称について、ナッキー号の名張の湯・とれたて名張交流館は略称か。

事務局 今後、愛称を募集していきたいが、現段階では確定していないため、現在の名称を使用していく。

事務局 みどり号の停留所の名称は、武道交流間いきいきと申請しています。

委員 運賃や経営に係ることはその他の項で取り上げるのか。

議長 承認いただけますでしょうか。

委員 意義ありません。

議長 ご承認いただき、ありがとうございます。

事務局 コミュニティバスの路線図や利用状況について説明します。

会長 紙面の都合にもよるかもしれないが、長期の収支状況についても載せていただきたい。当初、はたっこ号の収支はどのように予想していたか。

事務局 はじめての運行でなんとも言えない。

委員 図面には三重交通株の路線も記していただくと分かりやすい。コミュニティバスの採算性心配される。

事務局 今後、国県の補助制度を活用していく。収支を説明する資料としては不足しているが、市から各地域へ補助金を支給していることについて、今後とも税の負担とサービスの受益は大きなテーマだと認識している。税財源の投入の仕方について、今後とも議論する必要があると思われる。

会長 適切な費用面の負担について、市議会においてサービスの充実が議論されている一方、来年度以降に議論していきたい。

委員 交通ネットワークの構築等について現在、名張市総合都市交通マスタープランの策定で検討を進めている。

委員 交通ネットワークは整ってきているという考え方のようだが、交通空白地や声の上がない地域、運行が難しい地域の対応についてどのように考えているのか。

事務局 交通不便地域と交通空白地域は市内で6箇所あるが、赤目地域を除きコミュニティバスが運行している。赤目地域では今後議論していく予定である。名張市コミュニティバス推進方針に基づき考えていく。

- 会長 お年寄りなど、地域の実情も変わっていくので、配慮や目配りが必要だと考えられる。
- 委員 コミュニティバスの利用者数について、4月は少ないようだが、繁忙期のはずではないのか。
- 事務局 データが不十分であるが、コミュニティバス全般について利用状況は横ばいのようなのである
- 会長 ナッキー号の増収策、キャンペーンなどは考えているのか。
- 事務局 広告収入なども考えている。双方向運行については便利であるが費用がかかる。サービス水準と受益者負担、税財源の議論のうえでサービス水準の向上が必要だと考える。
- 委員 ナッキー号の車両は2台欲しい。そのような要望は市民の間からもよく聴かれる。桔梗が丘西地区の「かがやき」は車で無いといけない。「かがやき」へ乗り入れるのであれば、双方向運行できるよう車両が2台欲しい。1乗車200円にするならば、市民の利便性向上を考える等して、積極的な広告の掲載を考えてほしい。ナッキー号が運行を開始してから8年経とうとしており、市民が参画した方針の議論が望まれる。
- 委員 何年か前に200円の検討があったと思うが、今の状況についてはどうか。
- 委員 ナッキー号の運行に税金が投入された結果、税負担のあり方について市民感情としては偏りが生じていると思われる。市民に納得できる、税の公平感を持てるよう、施策の実施をしていただきたい。
- 会長 ナッキー号については、今後、検討されるのか。
- 事務局 ナッキー号の利用料金の改定については、名張市総合都市交通マスタープランの策定を含め、市民の利便性向上を目的とした議論が必要であると考え。直ぐにできるとは限らないが、
- 会長 将来的な考え方をお示しいただきたいが、市役所内の他部署と連携して検討いただきたい。
- 委員 百合が丘の市立病院までナッキー号が運行されているが、このほど発達障害者の施設が開設されるため、社会的に補助を求める人たちのために運行ルートの見直しをお願いしたい。
- 会長 大変長い時間でしたが、ご協力いただきありがとうございました。事務局には、より充実した市内交通の整備を検討をお願いしたい。当然、財源、利用者増の考え方等、すぐにすべての解決策を模索するには時間がかかるかもしれないが、そのためにこの会議を意義あるものにしていきたいと考えています。長時間どうもありがとうございました。

以上